

ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

私たちは、学生が「根拠ある事実と実感を伴いながら、大学で成長する」ことを願っています。高等教育研究室では、学生の成長に真摯に向き合いながら組織的に取り組まれる大学の教学改革をご支援してまいります。

高等教育研究室では、次のような調査やコンサルティングを行っています

▶ 教育力の現状評価・課題分析

入試分析、大学選択行動調査、高校生調査、入学者調査、卒業生調査、企業調査 など

▶ 教学改革の実践支援

ジェネリックスキル開発、キャリア教育推進支援、中退抑制対策、FD・SD支援、新学部設置・再編支援、教育における地域連携支援 など

▶ ステークホルダーへの訴求

高等学校・高校生への大学説明の支援、地域・企業への大学説明の支援 など

大学をめぐる多様な課題の解決策をご提案いたします。
お気軽にお問合せください。

(株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室

TEL 042-356-0944

URL <http://berd.benesse.jp/koutou/>

ベネッセ 高等教育 検索

ご支援の事例

事例1 学内検討された教学改革の方向性が、教職員の意識改革と継続的なFDとともに強力に実行されるように、学内ムーブメントづくりをご支援しました。

事例2 学習意欲の低い学生を学びから脱落、退学させないために、学生調査と学内検討のファシリテーションを実施し、教学改革の方向性をご提案しました。

事例3 学生の成長実感を持った授業改善に貢献するため、授業評価アンケートの設計・実施・分析を行い、シラバスやポートフォリオも含めた改善点をご提示しました。

事例4 キャンパス移転に伴い、大学を志望する高校生の層はどのように変化するのか、高校生調査とベネッセが持つ高校情報を基に分析し、学生募集施策をご提案しました。

◎高等教育研究室では、大学の教学改革を通じた教育力の向上が、ステークホルダーの満足度を高め、安定的・継続的に学生募集し得る大学経営に結び付くことを重視し、さまざまなご提案をしています。

高等教育研究室では、次の領域の調査・研究も行っています

- 大学教育を取り巻く環境、ステークホルダーを対象とした調査・研究
- 大学・高校教育において必要な、社会が求める能力の定義とアセスメント研究開発
- 項目反応理論に関連する心理測定学的手法の研究開発
- ベイズ統計学の理論や考え方の心理測定学への応用研究
- 大規模アセスメントを安定的に実施するための「問題データベース」やCBT (Computer Based Testing) 研究開発

編集後記

◎学生の学びの質を変えるために、どのような支援をするか、それぞれの専門領域の垣根を超えて、今後とも考えていく必要性を感じました。(大室)

◎「患者とのコミュニケーションが苦手な看護学部生」の話を読みました。本人の適性以上の大学選択基準があるのも事実です。何が大切かを考え続けていきたいと思えます。(榊原)

◎大学への憧れと進学を果たせなかった悔しさを隠さなかった松本清張氏は、44歳にして芥川賞を受賞。どこにあるかと主体性を持った学びとアウトプットが大切だと信じられます。(野村)

◎大学を訪れると建物の新築や工事が意外と多くあります。大学選択基準にも施設の充実は重視されていますが、古く汚い建物にも大学らしさや愛着を感じるの私だけでしょうか。(広瀬)

◎「授業中に不真面目な学生を注意してほしい」と願う学生の声を、幼稚と笑うか、授業への期待と捉えるか。教学改革の成否は、学生とどう向き合うかで分かれていると痛感します。(村山)

同封の大学読者アンケートにご協力ください

編集部では、今回の企画掲載記事および今後の大学教育改革について、読者の大学の皆様のご意見を今後の誌面づくりに生かすために、別紙アンケート用紙を本誌に同封してお届けしております。学務ご多忙のところまことにお手数をおかけしますが、アンケートのご記入と返信 (FAX) にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

VIEW21 大学版 編集部

次号は3月下旬発行予定です

VIEW21 大学版 2013 Vol.2 冬号

2013年12月3日発行 / 通巻第6号

発行人 山河健二
編集人 福光賢治
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
学校事業本部

印刷製本 (株)ビーヴィオコーポレーション
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 橋 晶子、二宮良太
撮影協力 荒川 潤、川上一生

VIEW21 大学版 〒206-8686 東京都多摩市落合1-34
編集部 電話 042-356-0944

©Benesse Corporation 2013